

## 音楽メモリー

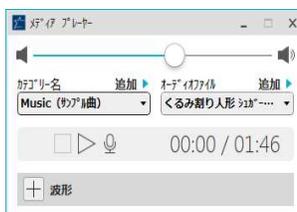
対象製品: Muse、Halo 2、オトレンズ・シナジー

\*2400、2000、1600 クラスの製品のみ

音楽メモリーは、音楽鑑賞が趣味のユーザーに最適な音質で音楽を聴いていただくために設計された音楽専用メモリーです。これは音楽の音質を向上させるために設計された音楽強調機能「ミュージックエンハンス」によって構成されています。

音楽メモリーの調整や評価は、ユーザーの主観を基に行います。ユーザーの音質に関する(意見・感想)を基に微調整するということです。音楽の音質フィッティングを成功させるためには、ユーザーにとってちょうど良いと感じる音量での音楽を聞いて貰える設備環境が必要になります。

確認用の音源としては、Inspire の画面上部のメニューバーにある **Media Player** アイコン  をクリックし、カテゴリ名から **Music (サンプル曲)** を選択、オーディオファイルから好みのクラシック曲を選択することで音源の再生ができます。また、MP3 など音楽プレイヤー内の曲を取り込み、再生することも可能です。



音楽メモリーには、以下のオプションが含まれています。:

- 音楽の音質を向上させるために設計された独自の圧縮アーキテクチャ「Music」処方式
- ソフトミュージックの可聴性とラウドミュージックの快適性に焦点を当てたフィッティング処方式
- 音楽の特性に合わせた Inspire ソフトウェアでの調整

1. Inspire X を起動し、補聴器を接続します。  
(詳細は、QuickTIPS : Muse&オトレンズ・シナジーまたは Halo 2 の初回フィッティング手順をご参照下さい。)
2. 左側ナビゲーションメニューから「クイックフィット」を選択します。

## 音楽メモリー

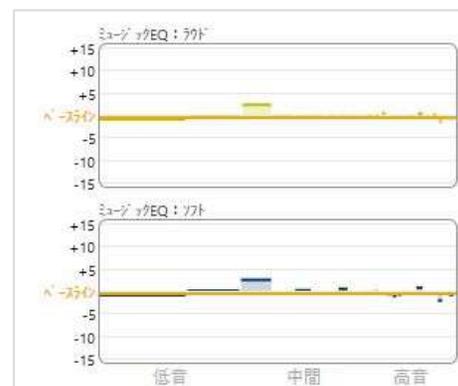
1. 左側ナビゲーションメニューの「メモリー」や、クイックフィット画面の「メモリー選択項目」にて、**メモリー2、3、4** のいずれかのメモリーで「音楽」を選択します。
2. 音楽メモリーをユーザーの好みの音質にするためにクイックフィット画面の「ミュージックEQコントロール」を使用して調整します。

調整できる項目: 全てのHz、低音、中間、高音

3. 左側ナビゲーションメニューまたはクイックフィット画面下の「ファインチューニング」から、チャンネルや入力レベル毎の音質調整を行います。
4. 音楽メモリーの設定を確認するために、ソフトとラウドのミュージックイコライザーを表示します。
5. 「+ 低音」「+ 中間」「+ 高音」をクリックすると、対象の周波数レンジを拡大表示します。
6. 「<< ナビゲーションバーを隠す」で左側ナビゲーションメニューを折りたたみ、調整画面を全画面表示にします。
7. 調整したい入力レベル別のチャンネルを選択し、「上矢印 (ハマーク)」や「下矢印 (Vマーク)」をクリックして調整します。



ミュージックEQコントロール  
(クイックフィット画面)



ミュージックEQ:ラウド  
ミュージックEQ:ソフト  
(ファインチューニング画面)